高山市（岐阜県）の一体的実施

平成23年11月1日事業開始

市役所（支所）を利用してハローワークが定期的に巡回相談を実施。さらに、市とハローワークが連携して、市役所（本庁舎）における職業紹介等を実施。



市

市役所（支所）の庁舎の提供、生活相談、職業相談の実施等

国

職業紹介・職業相談の実施等



①　事業内容

・市内9カ所の市役所の支所で、定期巡回による職業紹介や職業相談を実施
・本庁舎内の「ワークサロンたかやま」で、職業紹介や職業相談を実施
・ミニ面談会の実施

②　協定・事業計画

・高山市長と岐阜労働局長の間で協定（＊）を締結
・数値目標を盛り込んだ事業計画を高山市と岐阜労働局の間で策定

＊　協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

③　運営協議会

・高山市、岐阜労働局、高山公共職業安定所をメンバーとする運営協議会を設置

全国の市町村で最も面積が大きくハローワークまでの距離が遠い地域もあるため、市の支所を利用した巡回相談により、市民に近い場所で職業紹介の実施を実現。市役所本庁において、市の生活相談等とハローワークの職業紹介等による、市民へのワンストップのサービス提供が実現。

（1） 実施体制

高山市	国（ハローワーク高山）
・ 職員 1名を配置	・就職支援ナビゲーター1名を配置 ・相談員2名を配置 ・求人情報提供用のタブレット1台を配置

（2） 事業目標と取組状況（8年度）

	事業目標（年度）	取組状況（8年9月末時点）	
市の支所を利用した巡回相談の実施（9箇所）	◇3つの事業の合計 ・利用者数：8，500名 ・相談件数：3，300件 ・就職件数：　410件 ・就職率　：　40．0% （参考）7年度目標 ・利用者数：8，800名 ・相談件数：3，600件 ・就職件数：　450件 ・就職率　：　40．0%	◇8年4月～8年9月実績 ・利用者数　255名 ・相談件数　227件 ・就職件数　55件 （参考）7年9月実績 302名 286件 63件	◇3つの事業の合計 ・利用者数：3，922名 ・相談件数：1，485件 ・就職件数：　234件 ・就職率　：　65．0% （参考）7年9月実績 ・利用者数：4，579名 ・相談件数：1，868件 ・就職件数：　220件 ・就職率　：　52．8%
市役所の本庁舎内の「ワークサロンたかやま」での職業紹介の実施		◇8年4月～8年9月実績 ・利用者数　3，393名 ・相談件数　1，167件 ・就職件数　147件 （参考）7年9月実績 4，072名 1，403件 129件	
ミニ面談会の開催 合同企業説明会		◇8年4月～8年9月実績 開催回数　ミニ面談会2回・就職面談会1回・合同企業説明会1回 ・参加企業　128社 ・参加者数　274名 ・相談件数　91件 ・就職件数　32件 ・参加企業　120社 ・参加者数　205名 ・相談件数　179件 ・就職件数　28件	

一体的実施事業（高山市）による就職成功例

女性：４０歳代後半　希望職種：　清掃業務

○　ワークサロン相談を利用した理由
・清掃業務パート勤務しているが、転職を検討中。市役所福祉課へ寄られた際に、ワークサロンに立ち寄り相談。

①　抱える課題
・清掃業務（短時間、各種保険加入なし）在職中。子供の学費等出費増を見据え、収入増および各種保険加入できる就業形態へ転職希望だが、同職種では条件の合う求人が見つからない状況。

②　支援内容・ポイント・経過
・現在、週20時間未満のパートで勤務しているが、子供が高校生となり勤務できる時間数が増えたことや、今後、学費等の出費が増えることを考え収入増を希望。また、各種保険制度に加入したい意向。土日休み希望であるが、今までの経験から清掃求人希望するが、全ての条件が合致した求人が見つからない状況。
・詳しく話を聞く中で、過去に調理補助の経験があることがわかり職種について検討を促し、調理補助求人一覧提供。その中より希望条件に近い産休代替求人あり。求人先に希望に見合う条件に緩和するよう依頼し、勤務時間変更可能、産休代替期間については評価によって雇用延長の可能性がある旨を確認し伝達、まずは見学を案内。職場見学後、応募となり本人の柔和な対応、過去の調理補助経験が評価され採用。

③　結　果　　調理補助として採用。

○　就職ナビゲーターの所感
・求人先が条件緩和を了承していただけたことから、応募へつなげることができました。新しい職場での活躍を期待しています。

○　本人のコメント
・詳しく求人内容について説明していただき、希望の条件にあった職場に就職することができました。ありがとうございました。

女性：５０歳代前半　希望職種：調理補助

○　ワークサロン相談を利用した理由
・人間関係がうまくいかず退職。市役所へ寄られた際に、ワークサロンへも立ち寄られ、再就職について相談。

①　抱える課題
・調理補助や介護補助の仕事を中心に勤務していたが、職場の人間関係を理由に、短期間での離転職を繰り返していた。
・狭い地域の中で転職回数が多いため、過去に勤務経験のある事業所が多く、応募できる求人が限られている状況。
・人間関係での離職が多いことから、次の就職に向けて不安を抱えており、応募に対し慎重になっている。

②　支援内容・ポイント・経過
・希望条件（職種・各種保険加入等）を確認しながら、求人を数件情報提供したが、勤務したことがある事業所ばかりであり、なかなか応募につながらず。
・地元企業が多数参加する「就職面談会」の利用を案内したところ、興味をもち、面談会参加前に、履歴書の作成支援や面接対策を実施。キャリアの振り返りを行う中で、これまでの経験や強みを整理した。
・就職面談会では、事業所担当者と直接話すことで仕事内容や職場の雰囲気を詳しく知ることができ、また、担当者から「気軽に職場見学に来てください」と声を掛けられたことで安心感が生まれ、応募に前向きになり、職場見学後、正式に応募。

③　結　果　　介護助手として採用。

○　相談員の所感
・事業所担当者と直接話す機会や職場見学の案内を受けたことで応募への不安が軽減され、就職につながった。

○　本人のコメント
・人間関係で悩み自信を失いかけていましたが継続的な相談を通じて安心して応募することができました。